

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

オオタバコガの発生状況と防除対策(技術情報第5号)について(送付)

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

オオタバコガのフェロモントラップでの誘殺数が多い状況です。これまでの発生状況や今後の気象予報等を考慮すると、今後発生量が増加し、各作物に被害を与える可能性があるため、本虫の発生に十分注意して、捕殺や薬剤防除等による防除対策を行いましよう。

1 現在の発生状況

- (1) 合志市、八代市、阿蘇市に設置したフェロモントラップによるオオタバコガの7月第1半旬～第5半旬の誘殺数は平年比多であった(表、図1～4)。
- (2) 防除員の報告では、夏秋トマト、夏秋ナスで平年比やや多、夏秋キャベツで平年比やや多～少、露地キクで平年並の発生であった。

2 今後の発生予想

福岡管区气象台が7月28日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高く、降雨量は平年より少ない予想のため、すでにほ場内で発生している幼虫の発育が進み、野菜類や花き類、ダイズ等に被害が拡大することが懸念される。

3 被害が懸念される作物

トマト、ミニトマト、ナス、ピーマン、イチゴ、オクラ、アスパラガス、キャベツ、露地キク、宿根カスミソウ、ダイズ等

4 防除対策等

- (1) ほ場を見回り、葉や果実、花蕾における新しい食害痕や虫糞の早期発見に努め、幼虫を見つけ次第捕殺する。
- (2) 中老齢幼虫になると果実の中に食入するほか、薬剤の効果も劣るため、若齢幼虫を対象に薬剤防除する。
- (3) 摘心、摘花した脇芽や花蕾などは卵や若齢幼虫が寄生している可能性が高いため、ほ場外に持ち出す。
- (4) 施設栽培では目合い4mm以下の防虫ネットを展張し、成虫の侵入を抑制する。
- (5) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。
また、薬剤の使用時にはラベルに書いてある登録内容を確認して使用する。
- (6) 熊本県病害虫防除所のホームページに掲載しているフェロモントラップの誘殺状況(<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/131937.html>)を確認し、防除の参考にする。

表 各地域のオオタバコガの誘殺状況（7月第1半旬～第5半旬）

市町村名（地域名）	本年	平年値	平年比（%）
合志市（栄）	167.0	48.8	342.1
八代市（鏡）	28.7	7.4	388.5
阿蘇市（一の宮）	23.0	8.4	274.6
山都町（鶴ヶ田）	13.0	8.2	157.6

単位：頭、 平年比（%）：（本年誘殺数／平年値）×100

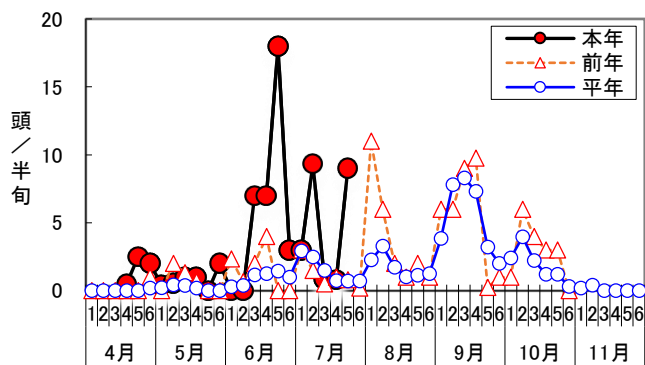


図1 阿蘇市一の宮・フェロモントラップ誘殺消長

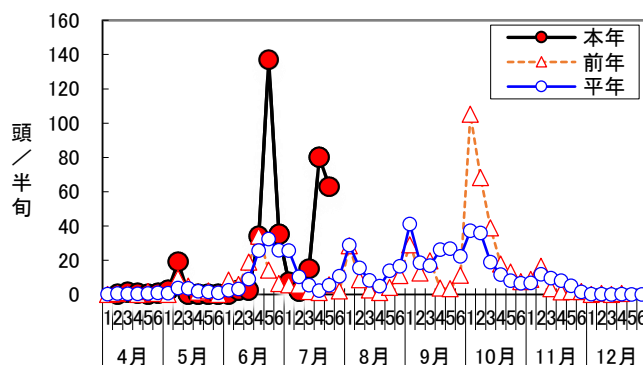


図2 合志市栄2地点平均・フェロモントラップ誘殺消長

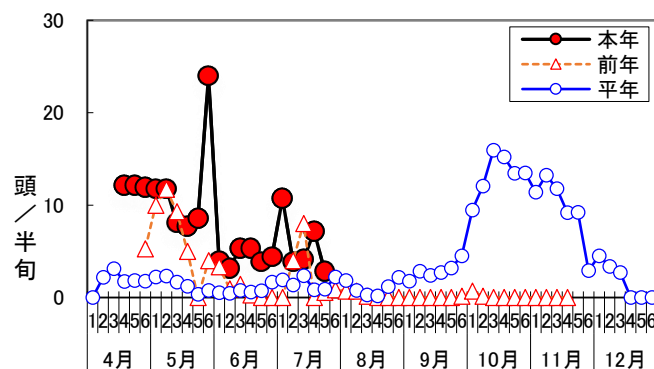


図3 八代市鏡・フェロモントラップ誘殺消長

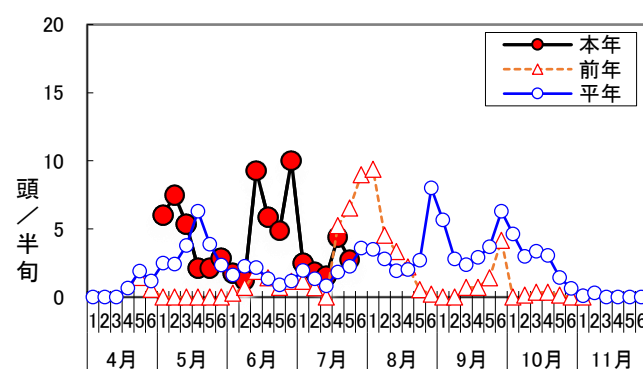


図4 山都町鶴ヶ田・フェロモントラップ誘殺消長

熊本県病害虫防除所
 （熊本県農業研究センター 生産環境研究所内）
 担当：中井、福岡
 TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493